

令和7年度図書館そだて会議（北房図書館） 議事録

日時：令和7年10月23日（木）

10時～11時45分

一般参加者：5人、図書館：8人

1. 開会
2. 参加者自己紹介(氏名と所属と最近読んだ本について)

3. 今年度の北房図書館の取り組みについて

●図書館から報告

今年初開催の「おりがみきょうしつ」と、昨年から定例行事となった「黙読会」に朗読が加わったことなどを紹介。

「おりがみきょうしつ」は、折り紙講師の資格を持つ利用者の方から発案されたイベントで、子どもが集まりやすいであろう夏休み期間に開催した。関連本展示でも折り紙の図書を置いておいたら、当日来られない人にも借りていただけ、次は参加したいと好評だった。次回未定だが今後も開催したい。

●そだて会議参加者から出た意見

・「北房から世界を見てみよう」に参加しているが、内容が難しく感じて気軽にコメントしづらい。

・郷土料理や季節の料理の本があまり無いので入れて欲しい。(リクエストとして受け入れた)

4. 来年度の北房図書館の取り組みについての意見交換と、真庭市図書館みらい計画改定に伴う概要説明

これから図書館でやってみたいことについての意見

- ① 「けんびき焼き」など北房の郷土料理を作る料理教室
- ② 健康麻雀
- ③ 上映会開催→ホールだと広すぎるので、研修室でプロジェクターを用いてやる。(元々付いているプロジェクターを新調する予算はあるのかどうか…)
- ④ 津山圏域で行われているデジタルライブラリー(電子書籍)は真庭市ではやらないのか→現状その予定は無し、県立図書館が来年度電子書籍の予算を取っているそうなので、そちらのサービスを利用してもらおう。
- ⑤ 集まって手芸をする
- ⑥ 「北房てらこや」を来年度からは図書館でやりたい
- ⑦ 百人一首大会（小学校高学年になるとマンガから百人一首に興味を持つ子が多いと感じる）

「真庭市図書館みらい計画」改訂版を踏まえ、出た意見を基本方針に当てはめた

(基本方針1 本と出合える場所になる)

(基本方針 2 子どもが育つ場所になる) について

○(児童クラブボランティア) 元々児童クラブに置いてある本は休校になった所から寄贈してもらいほとんどが古いため、配本で新しい本を読めるのは良いこと。また、普段お家で本を読む機会が無い子や、1年生になったばかりで文字がまだ読めない子がいるので、マンガや迷路、まちがいさがしなどの本を持って来てもらえるのはありがたい。

あまり図書に興味のない子がいることや、図書館に行く時間がなかなか取れないことが多い。→図書館を利用しない子が利用するきっかけとなる案を考えたい。ほくぼう児童クラブには、月に一度 30 冊の配本をしている。(長期休みの時は冊数多めにしている)

○よみかせは集中してよく聞いてくれる。読み聞かせをたくさんやってみたらどうか。

○学校図書館と公共図書館の違いがありますか。学校図書館に古い本が多いと感じる。

→学校図書館は学校で使われます。4年前のシステム導入の際に古い本は除架しました。

(基本方針 3 まにわたと出合える場所になる) について

○北房の郷土料理を作る料理教室を開催したい。→真庭の郷土料理についてまとめた本を栄養委員が発行しているので、それを見て献立を決め、調理室で実施したい。

ちなみに真庭地域食育推進協議会出版の『伝えたい真庭の郷土料理』は北房図書館に所蔵あり、真庭保健所管内栄養改善協議会出版の『えいよう』は所蔵無しなので、どなたか寄贈していただければ嬉しい。

また、校歌研究室と同様に、郷土料理動画としてアーカイブに残すこともしていきたい。

昔は6月ごろ田植えのあとはみんなで「けんびき焼き」を食べていた。小麦粉で生地を作り、中にあんこを入れ、みょうがの葉包んで焼いたもので地域の人がふるまっていた。

(基本方針 4 いつでも学べる場所になる) について

(基本方針 5 誰かとつながる場所になる) について

○健康麻雀を文化センターのロビーなどでやる。ふるさとカルタや百人一首とかも。児童クラブの子どもたちに参加してもらおう。

6. その他

(参加者) 会議中には発言しなかったが、館内に Wi-Fi がほしい。(文化センターではなく図書館内に) せっきゃくスマホを持っていれば (LINE で真庭市立図書館を友達登録していれば) 利用者カードを忘れても本を借りられるのに、電波が悪いため、なかなか画面が表示されないことに不満を持つ利用者も現状少なくない。

7. 閉会

以上